

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	裾野市海外友好協会補助金				2 担当課名	秘書課				
3 予算科目	款	2	項	1	目	17	事業コード	0234		
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	H元	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
5 根拠例規の有無	有	例規名称 裾野市国際交流活動費補助金交付要綱								
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	b事業費補助				
8 交付先分類	c特定団体(その他)									
9 交付先	裾野市海外友好協会									
10 補助金の目的	国際社会に対応できる人材の育成及び海外との友好親善を図るため、国際交流事業又は海外短期派遣事業を行う団体に対し、予算の範囲内において補助金を交付するもの。									
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	姉妹都市や在日外国人と交流することにより国際親善に寄与し、市民の文化と国際感覚が向上する。									
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	世界の文化に触れ合う機会を提供し国際感覚を備えるための国際交流サロンや、語学能力を向上させ国際進出を促すための英会話教室など各種講座。									
13 積算根拠の有無	有									
14 積算の考え方 計算式										
15 補助対象経費の設定の有無	無									
16 補助対象経費の内容	交際費	—	慶弔費	—	飲食費	—	懇親会費	—	積立金	—
その他補助対象の項目										
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足							
団体										
人数										
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)					
	26 年度	27 年度	28 年度		補足					
国・県支出金	0	0	0							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	1,900	1,900	1,900							
合計	1,900	1,900	1,900							
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足							
補助金 助成金	市	1,900	1,900							
	その他	0	0							
事業収入	0	0								
会費	0	0								
繰越金	0	0								
その他	0	0								
合計	1,900	1,900								
市の補助金の割合	100%	100%								

補助金名称	裾野市海外友好協会補助金	担当課名	秘書課
-------	--------------	------	-----

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	—	年度
3内容	—				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市海外友好協会補助金	担当課名	秘書課
-------	--------------	------	-----

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	○	
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	姉妹都市や在日外国人と交流することにより国際親善に寄与し、市民の文化と国際感覚が向上する。
2達成状況	国際親善の寄与及び国際感覚の向上に繋がっている。

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	国際親善の寄与及び国際感覚の向上に繋がっているため。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	裾野市日中友好協会補助金				2 担当課名	秘書課							
3 予算科目	款	2	項	1	目	17	事業コード	0234					
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H3	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市国際交流活動費補助金交付要綱								
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	b事業費補助							
8 交付先分類	c特定団体(その他)												
9 交付先	裾野市日中友好協会												
10 補助金の目的	国際社会に対応できる人材の育成及び海外との友好親善を図るため、国際交流事業又は海外短期派遣事業を行う団体に対し、予算の範囲内において補助金を交付するもの。												
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市民の中国に対する関心が高まることにより国際親善に寄与し、市民の文化と国際感覚が向上する。												
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	市民の中国に対する関心を高め、中国に対する理解を深めるための、各種講座及び交流会等。												
13 積算根拠の有無	有												
14 積算の考え方 計算式													
15 補助対象経費の設定の有無	無												
16 補助対象経費の内容	交際費	—	慶弔費	—	飲食費	—	懇親会費	—	積立金	—			
その他補助対象の項目													
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足										
団体													
人数													
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	26 年度	27 年度	28 年度		補足								
国・県支出金	0	0	0										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	350	350	350										
合計	350	350	350										
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足										
補助金	市		350	350									
助成金	その他		0	0									
事業収入			0	0									
会費			259	263									
繰越金			30	20									
その他			52	441									
合計			691	1,074									
市の補助金の割合			51%	33%									

補助金名称	裾野市日中友好協会補助金	担当課名	秘書課
-------	--------------	------	-----

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市日中友好協会補助金	担当課名	秘書課
-------	--------------	------	-----

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	○	
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市民の中国に対する関心が高まることにより国際親善に寄与し、市民の文化と国際感覚が向上する。
2達成状況	国際新鮮の寄与及び国際感覚の向上に繋がっている。

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	国際親善の寄与及び国際感覚の向上に繋がっているため。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

作成年度 28 年度

1 補助金名称	小中学生短期派遣事業補助金				2 担当課名	秘書課							
3 予算科目	款	2	項	1	目	17	事業コード	0234					
4 現在考えている事業期間	終期設定の有無		無		開始		H27	年度	～	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)
5 根拠例規の有無	有		例規名称		裾野市国際交流活動費補助金交付要綱								
6 性質別分類①	d市単独助成				7 性質別分類②	b事業費補助							
8 交付先分類	c特定団体(その他)												
9 交付先	裾野市海外友好協会												
10 補助金の目的	国際社会に対応できる人材の育成及び海外との友好親善を図るため、国際交流事業又は海外短期派遣事業を行う団体に対し、予算の範囲内において補助金を交付するもの。												
11 補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	小中学生が姉妹都市での学校訪問やホームステイを通じて国際人としての自覚を身につける。												
12 補助対象者・団体等が補助金で行う活動	小中学生が姉妹都市での学校訪問やホームステイを通じ、国際人としての自覚を身につけるための短期派遣事業。												
13 積算根拠の有無	有												
14 積算の考え方 計算式	事業費(渡航費)の1/2												
15 補助対象経費の設定の有無	有												
16 補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×			
その他補助対象の項目													
17 団体等の構成員数	26 年度	27 年度	補足										
団体	—	—											
人数	—	—											
18 市の補助金の財源	決算		予算		(千円)								
	26 年度	27 年度	28 年度	補足									
国・県支出金	0	0	0										
その他補助金	0	0	0										
一般財源	0	1,200	1,200										
合計	0	1,200	1,200										
19 団体・事業の財務内容	26 年度	27 年度	補足										
補助金	市		0	1,200									
助成金	その他		0	0									
事業収入	0	0											
会費	0	0											
繰越金	0	0											
その他	0	0											
合計	0	1,200											
市の補助金の割合			100%										

補助金名称	小中学生短期派遣事業補助金	担当課名	秘書課
-------	---------------	------	-----

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	H27.4	年度
3内容	国際交流基金の活用 (補助金額)・補助対象経費の2分の1・訪問団員1人につき10円限度 (対象経費)(1)交通費 (2)滞在費 (3)手数料(パスポート取得申請手数料除く) (4)施設等の視察に係る経費 (5)前号に掲げるもののほか、市長が必要と認めた経費				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	小中学生短期派遣事業補助金	担当課名	秘書課
-------	---------------	------	-----

(5) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	○	
②積算基準は定められているか (前年踏襲になっていないか)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(6) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	小中学生が姉妹都市での学校訪問やホームステイを通じて国際人としての自覚を身につける。
2達成状況	小中学生の国際感覚の向上に繋がっている。

3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	

(7) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続		
「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	国際親善の寄与及び国際感覚の向上に繋がっているため。	見直しの内容	
		見直しの時期	
「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			